

数学1年「いろいろな作図」 S.J教諭

同じ教師でも、クラス（生徒）が違えば、授業は変わる。同様に、同じ教材でも、教師が変われば授業は変わる。もっと言うと、全く同じ指導案で授業に臨んでも、教師が変われば、授業は変わることになる。

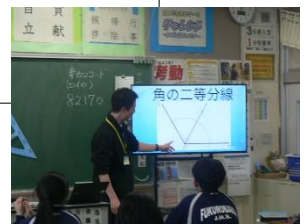
ここに、研究授業の本当の意味がある。互いの授業を見て、自分の授業に生かす。今回、あえて、同じ教材を2人の教諭が行ったことは大変面白い試みである。

※本時は、作図の最後の授業で発展的な内容。

ねらい 既習事項を利用して、75度を作図する方法を考え、式や図を使って説明する。(論理的な思考)
何らかの図形を作図している行為は、すでに角を作図していると言える。

【授業の流れ】

既習事項である、「正六角形、正三角形、垂線、垂直二等分線、角の二等分線」でウォーミングアップ。



※定規とコンパスで作図する上で、大きなポイントになるのが、まずは直線=180度に対して、角の二等分線で90度を作図することにある。(全てのスタート)

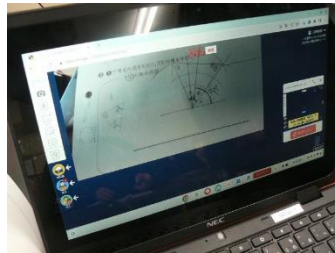
※作図できる角度(15度, 30度, 45度, 60度, 90度)を整理し、75度を作る式を立て、作図のゴールまでの道筋を描く。

(1) 学習課題 75度の角を作図しよう。

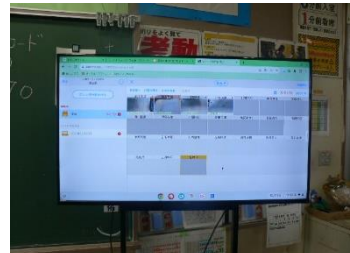
作図したものを、クロームブックで画像にし、クラスで共有。



自分のやり方を選択する



完成したものを提出する



(2) 説明 様々な考え方が発表されました！

自分が考えた方法をアウトプットすることで、知識技能が定着する。



45度+30度



60度+15度



90度-15度

(3) 協働的な学び

互いの考え方を伝え合う。

自分と異なる考え方の存在を知り、考え方の幅が広がる。

